

1月16日(木) 18:30~

会場：静岡県評会議室



第146回定例研究会

だれでも参加できます

ヨーロッパの社会構造と政党政治

報告：杉村 豪一 氏（常葉大学法学部 講師）

これからの企画

◆第147回定例研究会

日時…2月20日(木) 18:30~

場所…静岡県評会議室

「わたしは黙らない-派遣労働者・渡辺照子のたたかい」DVD(案)

◆春のセミナー(自主研究報告)

日時…3月20日(祝日) 13:00~

場所…西部地区労連労働会館

①社労士から提言 日本の社会保障制度見直しの必要性-朝日新書『日本より幸せなアメリカの下流老人』を読んで(案)

②教育現場の状況と変形労働時間制の導入(案)

③医療現場の状況と病院の再編・統合問題(案)

◆春のシンポ

日時…4月25日(土) 13:00~

場所…あざれあ第3会議室

「当事者による社会運動

—差別と貧困の中で—」(案)

基調報告：渡辺照子氏

政党政治を読み解く鍵

ヨーロッパ各国の政党政治は、それぞれに大きく異なる様相を示しています。こうした違いを考える上で重要となるのが、ヨーロッパ特有の複雑な社会構造です。各国の政党政治の大枠は、その社会構造的な対立関係に沿って形作られたものであるとされているからです。

そこでこの報告では、社会構造という観点からヨーロッパ各国の政党政治を分析していこうと思います。社会構造的な対立関係が、政治的争点や政党間の対立関係、さらには社会政策をはじめとする政府の諸政策の決定に対し、どのような影響を与えているのか。そういった点について、量的データを用いて明らかにしていくことがこの報告の主旨となります。

(参考)『ヨーロッパ政党政治の再考—社会構造と政策対立の接点—』
杉村豪一著 志学社 2015年